

政務活動記録簿

会派名	日本共産党
事業名	株式会社自治体研究社・オンライン研修/Zoom財政研修会
実施日	2021年2月5日
参加議員	窪田俊介

1 東御市における課題と研修・調査の目的

先の見えないコロナ禍のなかで、新年度予算に特化したZoom研修会が株式会社自治体研究社によって開催されたので、新人議員の基礎研修としても活用した。コロナ対策で昨今は議員研修もオンライン活用がすすみ、自宅でZoomによって講義を受講した。

2 経費

用途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	参加費	自治体研究社財政研修会	¥15,000
	研修会資料代	研修会テキスト 2冊	¥3,300
調査研究費			
○ 研 修 費			
広 報 費			
広 聴 費			
要請・陳情活動費			
会 議 費			
資料作成費			
資料購入費			
人 件 費			
事 務 所 費			
合 計			¥18,300

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	2021年2月5日
視察場所及び部局等	
視察事項	株式会社自治体研究社・オンライン研修/Zoom財政研修会
報告内容	<p>(1) 視察先概要  「緊急開催！ 自治体予算はどうなる/ ZOOM研修会」と題してコロナ禍での来年度予算に特化した研修会が開催された。講師は、平岡和久 立命館大学政策科学部教授と、森 裕之 立命館大学政策科学部教授である。</p> <p>(2) 視察事項について  平岡教授からは「国のコロナ対策と地方財政」として国の感染拡大防止策の変遷と地方財政対策の課題を、森教授からは「コロナに対応する自治体財政」としてコロナ禍の地方経済への影響とより自治体財政の具体例を用いて講義を受けた。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること  国の新年度予算に関連して、感染防止対策への予算措置が不十分である一方、ポストコロナ関係予算を重点的に計上していることが分かった。また、経済見通しでも甘い認識のもと組み立てられている。ポストコロナ関連ではデジタル化の推進やGoto事業などだが、年度末に第4波の兆候が明らかになった現在では、感染防止策への不十分さが証明されてしまった。地方から見たとき、以下の研修テキストの引用がそのまま当てはまると考える。以下引用—  「国と地方の大幅な税収減のなかで、新型コロナウイルス感染症対策に係る財政需要の増加、職員体制強化も含めた財政需要を満たしながら、自治体が安定した財政運営が行われるよう、地方一般財源総額の確保、拡充が必要だ。自治体現場が緊縮政策や自治体戦略 2040 構想に追随して自治体リストラと緊縮財政を先取りするのではなく、必要な地域財政需要に対する住民合意をもとに地域財政需要に応えるぎりぎりの努力を続けるとともに、自治体財政の充実とそのための国・地方財政の抜本的な改善を国に求めていく必要がある。」</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	日本共産党
事業名	資料購入費
実施日	令和3年3月23日
参加議員	窪田俊介、市毛真弓

1 東御市における課題と研修・調査の目的

議員の基礎学習の書籍5冊の購入をした。書籍は会派室に置く。購入リストを添付する。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	書籍代	地方自治法講義(第5版)ほか4冊	¥12,270
調査研究費			
研修費			
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			¥12,270

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

政務活動記録簿

会派名	日本共産党
事業名	事務費関連
実施日	令和3年3月9日
参加議員	窪田俊介、市毛真弓

1 東御市における課題と研修・調査の目的  
会派室にインクジェットプリンターの設置。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	プリンター代	インクジェットプリンター購入(1台)	¥36,366
調査研究費			
研修費			
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			¥36,366

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと